

目次

□巻頭言 第9次道路整備五箇年計画について……………杏掛哲男/1

建設機械の生産・輸出入の動向……………常味孝幸/3

玉川ダムの計画概要とコンクリート運搬設備……………下村文周/9

門崎高架橋の下部構造物の施工……………高橋力彦/16

路床土すき取り機械を……………宮下敏保/16

使用した路上再生路盤工法……………土真田米吉/24

……………川山健一郎/24

……………梶島栄雄/24

建設工事における騒音振動等環境対策の実態……………中村靖雄/29

□随想 健康について……………福田正/34

J.C.M.A. 第28回海外建設機械化視察団報告……………/37

————BAUMA '83ほか

グラビア——BAUMA '83

□昭和58年度官公庁の事業概要(5)~(6)

運輸省港湾関係事業の概要……………佐々木慶伍/43

運輸省空港整備事業の概要……………笠原勝/45

□昭和57年度官公庁・建設業界で採用した新機種

建設省……………後藤敏勇/50

……………藤岡義博/54

運輸省……………佐塩博治/54

……………宮下邦彦/56

……………富福義徳/56

日本国有鉄道……………

昭和57年の建設機械新機種とその傾向……………杉山庸夫/61

昭和58年度建設機械展示会(札幌)見聞記……………佐々木進/68

□部会研究報告

建設機械整備実態調査結果……………整備技術部会/72

……………整備実態調査委員会/72

□新機種ニュース……………調査部会/79

□文献調査

文献目録紹介(その1)……………文献調査委員会/82

□統計

建設工事受注額・建設機械受注額・建設機械卸売価格の推移

……………調査部会/84

行事一覧……………/85

編集後記……………(長田・鈴木康)/88

◀表紙写真説明▶

コマツ PC 650  
ローディングショベル  
株式会社 小松製作所

最近では工事規模の拡大、工期の短縮などによる生産性の向上、施工単価の低減が指向されているが、これらに対応して開発された大型ローディングショベルである。このクラス最大級のバケット容量、エンジン出力であるとともに、独自の油圧システム OLSS の採用をはじめとして、省エネ設計も十分に施されている。視界の広いハイマウントキャブや軽いレバー操作の POC パルプ式コントロールなど居住性、操作性にもすぐれた新鋭機である。

◀本機の主な仕様▶

バケット容量……………	3.8 m <sup>3</sup>
エンジン出力……………	410 PS
運転整備重量……………	68,500 kg
最大掘削半径……………	10,000 mm
最大掘削高さ……………	10,600 mm
最大ダンプ高さ……………	7,460 mm